

セメスター制の導入について

平成27年度より東京藝術大学では、セメスター制（学期ごとに授業を完結させる制度）の導入が実施されます。

本学のセメスター制導入による大きな変更は、以下のとおりです。

- ・多くの科目が半期科目として開講されます。
- ・履修登録期間が前期、後期の年2回になります。
→前期にはすべての科目の登録、後期には後期科目のみの追加登録・削除が出来ます。
- ・成績発表が前期、後期の年2回になります。
→原則10月には前期科目の成績発表、4月には後期及び通年科目の成績発表がされます。

前期、後期に自由に科目を履修することが可能ですが、科目の中には同一年度で「前期・後期」共に履修しなくてはならないもの（＝「セット科目」）があります。

この科目は同一年度で前期を合格しなくては後期を履修できない科目です。

つまり前期が不合格の場合、後期を履修するには次年度の前期に開講される授業に合格しなくてはなりません。

実技系の科目（専攻実技、副科実技、室内楽、プロジェクトなど）については原則通年科目として開講されます（一部の専攻を除く）が、留学に係る特例で、通年科目を単位分割（半期ごとに成績を付与）することが出来ます。

なお、今回のセメスター制導入により、9月卒業及び10月入学制度が実施されるものではありません。

セメスター制に関する説明会

新2年生（平成26年度以前に入学した学生）以上を対象に、セメスター制導入に関する説明会を開催します。

説明会の内容は以下の項目を予定しています。

- ・履修登録方法、成績発表について
- ・セメスター化される科目について
- ・前期、後期のセット履修科目について
- ・外国語科目の履修について
- ・留学にかかる履修の特例について
- ・新しい教務システム[キャンパスプラン]について
- ・時間割の見方について（web掲載）
- ・質疑応答
など

日時：4月3日（金）18：00～19：00

4月6日（月）18：00～19：00

※2回とも同じ内容を予定

場所：音楽学部5号館109教室

対象者：学部2年生以上（平成26年度以前に入学した学生）

持ち物：履修便覧

新旧科目対応表

平成26年度以前に開講していた科目で、平成27年度より改編した科目は以下のとおりです。
各専攻のカリキュラムに設定されている科目（『和声』など）もありますので、改編後の科目を必ず確認してください。
科目によっては一度合格したもので再度履修（反復履修）ができる科目がありますので、確認してください。

（反復履修が『不可』となっている科目で、平成26年度以前に改編前の科目を修得済みの場合、改編後の科目は履修できません）

平成26年度までの旧科目	単位	科目区分	担当教員室		平成27年度からの新科目	単位	科目区分	担当教員室	反復履修の可否
美学	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽学教員室	→	美学Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽学教員室	不可
				→	美学Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽学教員室	不可
音響学	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽学教員室	→	音響学Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽学教員室	不可
				→	音響学Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽学教員室	不可
音楽アウトリーチ	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽教育教員室	→	音楽アウトリーチⅠ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽教育教員室	不可
				→	音楽アウトリーチⅡ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽教育教員室	不可
臨床音楽入門	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部応用音楽学教員室	→	臨床音楽入門Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部応用音楽学教員室	不可
				→	臨床音楽入門Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部応用音楽学教員室	不可
音楽療法入門	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部応用音楽学教員室	→	音楽療法入門Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部応用音楽学教員室	不可
				→	音楽療法入門Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部応用音楽学教員室	不可
芸術文化環境論	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部応用音楽学教員室	→	芸術文化環境論Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部応用音楽学教員室	不可
				→	芸術文化環境論Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部応用音楽学教員室	不可
音楽療法概論	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部応用音楽学教員室	→	音楽療法概論Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部応用音楽学教員室	不可
				→	音楽療法概論Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部応用音楽学教員室	不可
音楽文化史	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽環境創造教員室	→	音楽文化史Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽環境創造教員室	不可
				→	音楽文化史Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽環境創造教員室	不可
ポップ論	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽環境創造教員室	→	ポップ論Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽環境創造教員室	不可
				→	ポップ論Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽環境創造教員室	不可
メディア論	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽環境創造教員室	→	メディア論Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽環境創造教員室	不可
				→	メディア論Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽環境創造教員室	不可
思想史	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	→	思想史Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
				→	思想史Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
英米文学	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	→	英米文学Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
				→	英米文学Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
経済学	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	→	経済学Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
				→	経済学Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
アートマネージメント概論	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	→	アートマネージメント概論Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
				→	アートマネージメント概論Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
音声学	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	→	音声学Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
				→	音声学Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
文化人類学	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	→	文化人類学Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
				→	文化人類学Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
演劇論	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	→	演劇論Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
				→	演劇論Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
法学（含日本国憲法）	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	→	法学（含日本国憲法）	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
著作権概論	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	→	著作権概論Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
				→	著作権概論Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
文章表現論	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	→	文章表現論Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
				→	文章表現論Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
フランス文学	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	→	フランス文学Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
				→	フランス文学Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
ドイツ文学Ⅰ（詩）	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	→	ドイツ文学Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
				→	ドイツ文学Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
歴史	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	→	歴史Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
				→	歴史Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
心理学概説	4	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	→	心理学概説Ⅰ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
				→	心理学概説Ⅱ	2	教養科目（一般教養科目）	音楽学部音楽文芸教員室	不可
対位法	4	専門基礎科目（音楽）	音楽学部作曲教員室	→	対位法[前期]	2	専門基礎科目（音楽）	音楽学部作曲教員室	不可
				→	対位法[後期]	2	専門基礎科目（音楽）	音楽学部作曲教員室	不可
管弦楽概論	4	専門基礎科目（音楽）	音楽学部作曲教員室	→	管弦楽概論[前期]	2	専門基礎科目（音楽）	音楽学部作曲教員室	不可
				→	管弦楽概論[後期]	2	専門基礎科目（音楽）	音楽学部作曲教員室	不可
音楽分析	4	専門基礎科目（音楽）	音楽学部作曲教員室	→	音楽分析[前期]	2	専門基礎科目（音楽）	音楽学部作曲教員室	不可
				→	音楽分析[後期]	2	専門基礎科目（音楽）	音楽学部作曲教員室	不可
ジャズ・フュージョン概論	4	専門基礎科目（音楽）	音楽学部管打楽教員室	→	ジャズ・フュージョン概論Ⅰ	2	専門基礎科目（音楽）	音楽学部管打楽教員室	不可
				→	ジャズ・フュージョン概論Ⅱ	2	専門基礎科目（音楽）	音楽学部管打楽教員室	不可
管楽器オーケストラスタディ	4	専門基礎科目（音楽）	音楽学部管打楽教員室	→	管楽器オーケストラスタディⅠ	2	専門基礎科目（音楽）	音楽学部管打楽教員室	不可
				→	管楽器オーケストラスタディⅡ	2	専門基礎科目（音楽）	音楽学部管打楽教員室	不可
A Vメディア	4	演奏芸術センター開設科目	演奏芸術センター教員室	→	A Vメディア[前期]	2	専門基礎科目（音楽）	演奏芸術センター教員室	不可
				→	A Vメディア[後期]	2	専門基礎科目（音楽）	演奏芸術センター教員室	不可
邦楽実技論	4	専門基礎科目（音楽）	音楽学部邦楽教員室（共通）	→	邦楽実技論[前期]	2	専門基礎科目（音楽）	音楽学部邦楽教員室（共通）	不可
				→	邦楽実技論[後期]	2	専門基礎科目（音楽）	音楽学部邦楽教員室（共通）	不可
日本・東洋音楽史	4	専門基礎科目（音楽）	音楽学部音楽学教員室	→	日本・東洋音楽史Ⅰ	2	専門基礎科目（音楽）	音楽学部音楽学教員室	不可
				→	日本・東洋音楽史Ⅱ	2	専門基礎科目（音楽）	音楽学部音楽学教員室	不可
音楽リサーチ法Ⅰ	2	大学院開設科目（大学院共通）	音楽学部音楽学教員室	→	音楽リサーチ法	2	専門基礎科目（音楽）	音楽学部音楽学教員室	可（1回まで）
音楽リサーチ法Ⅱ	2	大学院開設科目（大学院共通）	音楽学部音楽学教員室	→					
日本事情（含日本語表現法）	4	留学生特別科目	音楽学部音楽文芸教員室	→	日本事情（含日本語表現法）Ⅰ	2	留学生特別科目	言語・音声トレーニングセンター教員室	不可
				→	日本事情（含日本語表現法）Ⅱ	2	留学生特別科目	言語・音声トレーニングセンター教員室	不可
日本語（入門）	4	留学生特別科目	音楽学部音楽文芸教員室	→	日本語入門Ⅰ A	1	留学生特別科目	言語・音声トレーニングセンター教員室	不可
				→	日本語入門Ⅱ A	1	留学生特別科目	言語・音声トレーニングセンター教員室	不可
日本語（入門）	4	留学生特別科目	音楽学部音楽文芸教員室	→	日本語入門Ⅰ B	1	留学生特別科目	言語・音声トレーニングセンター教員室	不可
				→	日本語入門Ⅱ B	1	留学生特別科目	言語・音声トレーニングセンター教員室	不可
日本語（初級）	4	留学生特別科目	音楽学部音楽文芸教員室	→	日本語初級Ⅰ A	1	留学生特別科目	言語・音声トレーニングセンター教員室	不可
				→	日本語初級Ⅱ A	1	留学生特別科目	言語・音声トレーニングセンター教員室	不可
日本語（初級）	4	留学生特別科目	音楽学部音楽文芸教員室	→	日本語初級Ⅰ B	1	留学生特別科目	言語・音声トレーニングセンター教員室	不可
				→	日本語初級Ⅱ B	1	留学生特別科目	言語・音声トレーニングセンター教員室	不可
日本語（中級）	4	留学生特別科目	音楽学部音楽文芸教員室	→	日本語中級Ⅰ A	1	留学生特別科目	言語・音声トレーニングセンター教員室	不可
				→	日本語中級Ⅱ A	1	留学生特別科目	言語・音声トレーニングセンター教員室	不可
日本語（中級）	4	留学生特別科目	音楽学部音楽文芸教員室	→	日本語中級Ⅰ B	1	留学生特別科目	言語・音声トレーニングセンター教員室	不可
				→	日本語中級Ⅱ B	1	留学生特別科目	言語・音声トレーニングセンター教員室	不可
劇場芸術論	4	演奏芸術センター開設科目	演奏芸術センター教員室	→	劇場芸術論Ⅰ	2	演奏芸術センター開設科目	演奏芸術センター教員室	不可
				→	劇場芸術論Ⅱ	2	演奏芸術センター開設科目	演奏芸術センター教員室	不可
アジアの伝統と現代	4	演奏芸術センター開設科目	演奏芸術センター教員室	→	アジアの伝統と現代Ⅰ	2	演奏芸術センター開設科目	演奏芸術センター教員室	不可
				→	アジアの伝統と現代Ⅱ	2	演奏芸術センター開設科目	演奏芸術センター教員室	不可
劇場技術論	4	演奏芸術センター開設科目	演奏芸術センター教員室	→	劇場技術論Ⅰ	2	演奏芸術センター開設科目	演奏芸術センター教員室	不可
				→	劇場技術論Ⅱ	2	演奏芸術センター開設科目	演奏芸術センター教員室	不可
サウンドレコーディング基礎演習	2	演奏芸術センター開設科目	演奏芸術センター教員室	→	サウンドレコーディング基礎演習[前期]	1	演奏芸術センター開設科目	演奏芸術センター教員室	不可
				→	サウンドレコーディング基礎演習[後期]	1	演奏芸術センター開設科目	演奏芸術センター教員室	不可

(反復履修が『不可』となっている科目で、平成26年度以前に改編前の科目を修得済みの場合、改編後の科目は履修できません)

平成26年度までの旧科目	単位	科目区分	担当教員室	平成27年度からの新科目	単位	科目区分	担当教員室	反復履修の可否
音楽を伝えるメディア	2	演奏芸術センター開設科目	演奏芸術センター教員室	音楽を伝えるメディア[前期]	1	演奏芸術センター開設科目	演奏芸術センター教員室	不可
				音楽を伝えるメディア[後期]	1	演奏芸術センター開設科目	演奏芸術センター教員室	不可
音楽教科教育法 I	4	教職・教科に関する科目(音楽)	音楽学部音楽教育教員室	音楽教科教育法 I-1	2	教職・教科に関する科目(音楽)	音楽学部音楽教育教員室	不可
				音楽教科教育法 I-2	2	教職・教科に関する科目(音楽)	音楽学部音楽教育教員室	不可
音楽教科教育法 II	4	教職・教科に関する科目(音楽)	音楽学部音楽教育教員室	音楽教科教育法 II-1	2	教職・教科に関する科目(音楽)	音楽学部音楽教育教員室	不可
				音楽教科教育法 II-2	2	教職・教科に関する科目(音楽)	音楽学部音楽教育教員室	不可
オペラ実習 I A・B・C	4	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	オペラ実習 I A・B・C[前期]	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	不可
				オペラ実習 I A・B・C[後期]	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	不可
声楽演習 II (スペイン歌曲)	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	声楽演習 II (スペイン歌曲)[前期]	1	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	可(1回まで)
				声楽演習 II (スペイン歌曲)[後期]	1	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	可(1回まで)
声楽演習 I (フランス歌曲)	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	声楽演習 I (フランス歌曲)[前期]	1	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	可(1回まで)
				声楽演習 I (フランス歌曲)[後期]	1	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	可(1回まで)
声楽アンサンブル B	4	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	声楽アンサンブル B[前期]	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	不可
				声楽アンサンブル B[後期]	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	不可
合唱 I	4	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	合唱 I [前期]	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	不可
				合唱 I [後期]	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	不可
合唱 II	4	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	合唱 II [前期]	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	不可
				合唱 II [後期]	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	不可
合唱 III	4	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	合唱 III [前期]	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	不可
				合唱 III [後期]	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	不可
声楽アンサンブル A	4	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	声楽アンサンブル A [前期]	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	不可
				声楽アンサンブル A [後期]	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	不可
ボディテック	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	ボディテック[前期]	1	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	不可
				ボディテック[後期]	1	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	不可
声楽演習 III (ロシア歌曲)	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	声楽演習 III (ロシア歌曲)[前期]	1	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	可(1回まで)
				声楽演習 III (ロシア歌曲)[後期]	1	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	可(1回まで)
オペラ基礎演技 A・B	4	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	オペラ基礎演技 A・B [前期]	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	不可
				オペラ基礎演技 A・B [後期]	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	不可
オペラ実習 II A・B・C	4	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	オペラ実習 II A・B・C [前期]	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	不可
				オペラ実習 II A・B・C [後期]	2	専門科目(声楽)	音楽学部声楽教員室	不可
伴奏 I - 2	2	専門科目(器楽)	音楽学部ピアノ教員室	伴奏 I - 2A	1	専門科目(器楽)	音楽学部ピアノ教員室	不可
				伴奏 I - 2B	1	専門科目(器楽)	音楽学部ピアノ教員室	不可
伴奏 I - 1	2	専門科目(器楽)	音楽学部ピアノ教員室	伴奏 I - 1A	1	専門科目(器楽)	音楽学部ピアノ教員室	不可
				伴奏 I - 1B	1	専門科目(器楽)	音楽学部ピアノ教員室	不可
伴奏 II	2	専門科目(器楽)	音楽学部ピアノ教員室	伴奏 II-1	1	専門科目(器楽)	音楽学部ピアノ教員室	不可
				伴奏 II-2	1	専門科目(器楽)	音楽学部ピアノ教員室	不可
古楽文献研究	4	専門科目(器楽)	音楽学部古楽教員室	古楽文献研究[前期]	2	専門科目(器楽)	音楽学部古楽教員室	不可
				古楽文献研究[後期]	2	専門科目(器楽)	音楽学部古楽教員室	不可
三味線作曲法	2	専門科目(邦楽)	音楽学部邦楽教員室(三味線音楽)	三味線作曲法[前期]	1	専門科目(邦楽)	音楽学部邦楽教員室(三味線音楽)	不可
				三味線作曲法[後期]	1	専門科目(邦楽)	音楽学部邦楽教員室(三味線音楽)	不可
三味線音楽演奏論	4	専門科目(邦楽)	音楽学部邦楽教員室(三味線音楽)	三味線音楽演奏論[前期]	2	専門科目(邦楽)	音楽学部邦楽教員室(三味線音楽)	不可
				三味線音楽演奏論[後期]	2	専門科目(邦楽)	音楽学部邦楽教員室(三味線音楽)	不可
日本舞踊史	4	専門科目(邦楽)	音楽学部邦楽教員室(日本舞踊)	日本舞踊史[前期]	2	専門科目(邦楽)	音楽学部邦楽教員室(日本舞踊)	不可
				日本舞踊史[後期]	2	専門科目(邦楽)	音楽学部邦楽教員室(日本舞踊)	不可
箏歌歌唱法	2	専門科目(邦楽)	音楽学部邦楽教員室(箏曲(山田流))	箏歌歌唱法 I	1	専門科目(邦楽)	音楽学部邦楽教員室(箏曲(山田流))	不可
				箏歌歌唱法 II	1	専門科目(邦楽)	音楽学部邦楽教員室(箏曲(山田流))	不可
箏曲生田流演奏論	4	専門科目(邦楽)	音楽学部邦楽教員室(箏曲(生田流))	箏曲生田流演奏論[前期]	2	専門科目(邦楽)	音楽学部邦楽教員室(箏曲(生田流))	不可
				箏曲生田流演奏論[後期]	2	専門科目(邦楽)	音楽学部邦楽教員室(箏曲(生田流))	不可
雅楽理論	4	専門科目(邦楽)	音楽学部邦楽教員室(雅楽)	雅楽理論[前期]	2	専門科目(邦楽)	音楽学部邦楽教員室(雅楽)	不可
				雅楽理論[後期]	2	専門科目(邦楽)	音楽学部邦楽教員室(雅楽)	不可
古典文献研究法	4	専門科目(邦楽)	音楽学部音楽文芸教員室	古典文献研究法 I	2	専門科目(邦楽)	音楽学部音楽文芸教員室	不可
				古典文献研究法 II	2	専門科目(邦楽)	音楽学部音楽文芸教員室	不可
邦楽歌詞研究	4	専門科目(邦楽)	音楽学部音楽文芸教員室	邦楽歌詞研究 I	2	専門科目(邦楽)	音楽学部音楽文芸教員室	不可
				邦楽歌詞研究 II	2	専門科目(邦楽)	音楽学部音楽文芸教員室	不可
音楽社会学	4	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	音楽社会学 I	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
				音楽社会学 II	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
音楽音響学	4	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	音楽音響学 I	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
				音楽音響学 II	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
西洋音楽史 I 演習	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	西洋音楽史 I 演習 I	1	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
				西洋音楽史 I 演習 II	1	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
現代音楽演習	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	現代音楽演習 I	1	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
				現代音楽演習 II	1	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
ジャズ・ポピュラー音楽	4	専門基礎科目(音楽)	音楽学部音楽学教員室	ジャズ・ポピュラー音楽 I	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
				ジャズ・ポピュラー音楽 II	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
初級演習 A (日本音楽史)	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	初級演習 A (日本音楽史) I	1	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
				初級演習 A (日本音楽史) II	1	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
初級演習 B (音楽美学)	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	初級演習 B (音楽美学) I	1	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
				初級演習 B (音楽美学) II	1	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
日本音楽史 II 演習	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	日本音楽史 II 演習 I	1	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
				日本音楽史 II 演習 II	1	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
西洋音楽史 II 講義	4	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	西洋音楽史 II 講義 I	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
				西洋音楽史 II 講義 II	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
日本音楽史 II 講義	4	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	日本音楽史 II 講義 I	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
				日本音楽史 II 講義 II	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
音楽美学講義	4	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	音楽美学講義 I	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
				音楽美学講義 II	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
音楽理論史講義	4	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	音楽理論史講義 I	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
				音楽理論史講義 II	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
音楽民族学講義	4	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	音楽民族学講義 I	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
				音楽民族学講義 II	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
総合ゼミナール	0	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	総合ゼミナール I	0	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
				総合ゼミナール II	0	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
音楽分析論	4	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	音楽分析論 I	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
				音楽分析論 II	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
日本音楽史 I 講義	4	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	日本音楽史 I 講義 I	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
				日本音楽史 I 講義 II	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
音楽学特論 I	4	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	音楽学特論 I-1	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
				音楽学特論 I-2	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
音楽理論史演習	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	音楽理論史演習 I	1	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
				音楽理論史演習 II	1	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
現代音楽講義	4	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	現代音楽講義 I	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可
				現代音楽講義 II	2	専門科目(音楽学)	音楽学部音楽学教員室	不可

平成26年度以前に入学した学生に対する経過措置（外国語科目）

平成27年度より、外国語科目でも大きな改編があります。また、それに伴い平成27年度入学者から語学履修のルールが変わりますが、**平成26年度以前に入学した学生については原則変更ありません。**科目改編に伴う履修方法の経過措置については以下のとおりですので、各科・専攻別の語学カリキュラムに基づき、履修科目、卒業要件単位の上限等を必ず確認してください。

○学部の外国語科目（言語芸術開設科目）

【英語】

平成26年度までの旧科目			平成27年度からの新科目			卒業要件単位の上限
科目名	単位数		科目名	単位数		
英語入門Ⅰ	2単位	→	英語初級Ⅰ	1単位	→	新旧合わせて4単位まで
英語入門Ⅱ	2単位	→	英語初級Ⅱ	1単位	→	新旧合わせて4単位まで
英語Ⅰ	2単位	→	英語中級Ⅰ	1単位	→	新旧合わせて4単位まで
		→	英語中級Ⅱ	1単位	→	
英語Ⅱ	2単位	→	英語上級Ⅰ	1単位	→	新旧合わせて4単位まで
		→	英語上級Ⅱ	1単位	→	
英語演習	2単位	→	英語演習Ⅰ	1単位	→	新旧合わせて8単位まで
		→	英語演習Ⅱ	1単位	→	

履修原則・内容

- 平成26年度以前の入学者に対しては、「Ⅰ・Ⅱ」は履修順序を表すものではなく、「英語初級」「英語中級」「英語上級」「英語演習」において、履修科目の選択は自由である。（前期に開講の「Ⅱ」、後期に開講の「Ⅰ」を履修することができる。）
- 原則、初級→中級→上級→演習の順に履修し、上級以上に到達することが望ましい。ただし、楽理科・音楽環境創造科の英語の履修は、「英語上級」「英語演習」から選択する。
- 同一クラス、同一教員での単位加算は認めない。但し「英語演習Ⅰ」及び「英語演習Ⅱ」に関しては、それぞれ2単位まで単位加算を認める。

【独・仏・伊・露】

平成26年度までの旧科目			平成27年度からの新科目			卒業要件単位の上限
科目名	単位数		科目名	単位数		
初級	4単位	→	初級Ⅰα	1単位	→	新旧のいずれか4単位
		→	初級Ⅰβ	1単位		
		→	初級Ⅱα	1単位		
		→	初級Ⅱβ	1単位		
中級	2単位	→	中級Ⅰ	1単位	→	新旧合わせて4単位まで
		→	中級Ⅱ	1単位	→	
演習	2単位	→	上級Ⅰ	1単位	→	新旧合わせて8単位まで
		→	上級Ⅱ	1単位		

履修原則・内容

- 初級は、「Ⅰ」と「Ⅱ」の両方を履修したことにより修得したこととみなされ、卒業要件単位として認定される。
- 初級は、同じクラス（A、B、C、D・・・クラス）の授業を必ず週2コマ（αとβ）を履修すること。
- 履修は、原則として初級Ⅰ、Ⅱ→中級Ⅰ、Ⅱ→上級Ⅰ、Ⅱと段階的に行うものとする。
- 中級Ⅰ、中級Ⅱ、上級Ⅰ、上級Ⅱは、既修得単位の同一教員の科目を重ねて履修した場合でも、年度が異なれば単位加算することができる。ただし、中級Ⅰ、中級Ⅱ、上級Ⅰ、上級Ⅱそれぞれ2単位を限度とする。各外国語の初級は、再履修しても単位加算はできない。

【韓国語・スペイン語・ラテン語】

平成26年度までの旧科目			平成27年度からの新科目			卒業要件単位の上限
科目名	単位数		科目名	単位数		
ラテン語	2単位	→	ラテン語Ⅰ	1単位	→	新旧のいずれか2単位
		→	ラテン語Ⅱ	1単位	→	
韓国語初級	2単位	→	韓国語初級Ⅰ	1単位	→	新旧のいずれか2単位
		→	韓国語初級Ⅱ	1単位	→	
スペイン語初級	2単位	→	スペイン語初級Ⅰ	1単位	→	新旧のいずれか2単位
		→	スペイン語初級Ⅱ	1単位	→	
スペイン語中級	2単位	→	スペイン語中級Ⅰ	1単位	→	新旧合わせて4単位まで
		→	スペイン語中級Ⅱ	1単位	→	

履修原則・内容

- ①スペイン語初級・韓国語・ラテン語は、「Ⅰ」と「Ⅱ」の両方を履修したことにより修得したとみなされ、卒業要件単位として認定される。
- ②履修は、原則として初級Ⅰ、Ⅱ→中級Ⅰ、Ⅱと段階的に行うものとする。
- ③スペイン語の中級Ⅰ、中級Ⅱは、年度が異なれば単位加算することができる。
ただし、中級Ⅰ、中級Ⅱそれぞれ2単位を限度とする。

○言語・音声トレーニングセンター開設科目

「言語・音声トレーニングセンター」で開設されている外国語科目を修得した場合、下表のとおり学部の外国語科目の単位として認定する。

各科目の「Ⅱ」の履修には、同名科目の「Ⅰ」の修得が望ましい。

なお、既修得単位の科目を修得しても、単位加算はできない。

楽理科・音楽環境創造科以外の全科

【英語】

平成26年度までの旧科目		平成27年度からの新科目		卒業要件単位の上限		
科目名	単位数	科目名	単位数			
		英語会話（中級）Ⅰ	各1単位	→	卒業要件単位にはならない （旧科目の英語Ⅰに相当）	
		英語作文（中級）Ⅰ				
		実用英語（中級）Ⅰ				
		英語会話（中級）Ⅱ	各1単位	→		
		英語作文（中級）Ⅱ				
		実用英語（中級）Ⅱ				
英語会話Ⅰ 英語作文Ⅰ 実用英語Ⅰ	各2単位	→	英語会話（上級）Ⅰ	各1単位	→	新科目の いずれか 1単位まで
			英語作文（上級）Ⅰ			
			実用英語（上級）Ⅰ			
		→	英語アカデミック・スキル（上級）Ⅰ			
		→	英語会話（上級）Ⅱ	各1単位	→	新科目の いずれか 1単位まで
			実用英語（上級）Ⅱ			
			英語作文（上級）Ⅱ			
			英語アカデミック・スキル（上級）Ⅱ			
英語会話Ⅱ・Ⅲ 英語作文Ⅱ・Ⅲ 実用英語Ⅱ ディスカッションⅡ プレゼンテーションⅡ	各2単位	→	英語作文（演習）Ⅰ	各1単位	→	新科目の いずれか 2科目 2単位まで
			実用英語（演習）Ⅰ			
			英語アカデミック・スキル（演習）Ⅰ			
		→	英語作文（演習）Ⅱ	各1単位	→	新旧合わせて 2単位までを 上級（旧： 英語Ⅱ）の 単位として認 定する
			実用英語（演習）Ⅱ			
			英語アカデミック・スキル（演習）Ⅱ			

【英語以外の外国語】

平成26年度までの旧科目		平成27年度からの新科目		卒業要件単位の上限		
科目名	単位数	科目名	単位数			
会話Ⅰ 作文Ⅰ 実用〇〇語Ⅰ	各2単位	→	会話（中級）Ⅰ	各1単位	→	各外国語について、 新科目のいずれか 1単位まで
			作文（中級）Ⅰ			
			実用〇〇語（中級）Ⅰ			
		→	会話（中級）Ⅱ	各1単位	→	各外国語について、 新科目のいずれか 1単位まで
			作文（中級）Ⅱ			
			実用〇〇語（中級）Ⅱ			
会話Ⅱ・Ⅲ 作文Ⅱ・Ⅲ ドイツ語歌詞演習 実用〇〇語Ⅱ	各2単位	→	会話（上級）Ⅰ	各1単位	→	各外国語について、 新科目のいずれか 1単位まで
			作文（上級）Ⅰ			
			ドイツ語歌詞演習（上級）Ⅰ			
		→	実用〇〇語（上級）Ⅰ			
		→	会話（上級）Ⅱ	各1単位	→	各外国語について、 新科目のいずれか 1単位まで
			作文（上級）Ⅱ			
			ドイツ語歌詞演習（上級）Ⅱ			
			実用〇〇語（上級）Ⅱ			

楽理科

【すべての外国語】

平成26年度までの旧科目		平成27年度からの新科目		卒業要件単位の上限
科目名	単位数	科目名	単位数	
会話Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 作文Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 実用〇〇語Ⅰ・Ⅱ ディスカッションⅡ プレゼンテーションⅡ	各2単位	→ 会話（中級）Ⅰ	各1単位	各科目について、新旧合わせて、履修便覧17ページ「各科専攻別の履修」の楽理Ⅱの単位として認定する。 ただし、英語の（中級）は認定されない。
		→ 会話（中級）Ⅱ		
		→ 会話（上級）Ⅰ		
		→ 会話（上級）Ⅱ		
		→ 作文（中級）Ⅰ		
		→ 作文（中級）Ⅱ		
		→ 作文（上級）Ⅰ		
→ 作文（上級）Ⅱ				
→ 英語作文（演習）Ⅰ				
→ 英語作文（演習）Ⅱ				
→ 実用〇〇語（中級）Ⅰ				
→ 実用〇〇語（中級）Ⅱ				
→ 実用〇〇語（上級）Ⅰ				
→ 実用〇〇語（上級）Ⅱ				
→ 実用英語（演習）Ⅰ				
→ 実用英語（演習）Ⅱ				
→ 英語アカデミック・スキル（上級）Ⅰ				
→ 英語アカデミック・スキル（上級）Ⅱ				
→ 英語アカデミック・スキル（演習）Ⅰ				
→ 英語アカデミック・スキル（演習）Ⅱ				

音楽環境創造科

【すべての外国語】

平成26年度までの旧科目		平成27年度からの新科目		卒業要件単位の上限
科目名	単位数	科目名	単位数	
会話Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 作文Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 実用〇〇語Ⅰ・Ⅱ ディスカッションⅡ プレゼンテーションⅡ	各2単位	→ 会話（中級）Ⅰ	各1単位	各科目について、新旧合わせて計4単位までに限り、履修便覧17ページ「各科専攻別の履修」の外国語科目として認定する。 ただし、英語の（中級）は認定されない。
		→ 会話（中級）Ⅱ		
		→ 会話（上級）Ⅰ		
		→ 会話（上級）Ⅱ		
		→ 作文（中級）Ⅰ		
		→ 作文（中級）Ⅱ		
		→ 作文（上級）Ⅰ		
→ 作文（上級）Ⅱ				
→ 英語作文（演習）Ⅰ				
→ 英語作文（演習）Ⅱ				
→ 実用〇〇語（中級）Ⅰ				
→ 実用〇〇語（中級）Ⅱ				
→ 実用〇〇語（上級）Ⅰ				
→ 実用〇〇語（上級）Ⅱ				
→ 実用英語（演習）Ⅰ				
→ 実用英語（演習）Ⅱ				
→ 英語アカデミック・スキル（上級）Ⅰ				
→ 英語アカデミック・スキル（上級）Ⅱ				
→ 英語アカデミック・スキル（演習）Ⅰ				
→ 英語アカデミック・スキル（演習）Ⅱ				

【参考】履修便覧 17ページ ○各科・専攻別の履修

①「条件等」内の太字は新科目での名称を表す。

②邦楽科・楽理科での国語（古文）の履修は、旧科目または新科目のいずれかを認める。

（旧科目で修得済みの場合、新科目の履修はできない）

科・専攻	科目	必要修得単位数	条件等
作曲 弦楽 管打楽	英・独・仏より 1 ヶ国語を選択し、計 8 単位を修得。	8	
ピアノ オルガン 指揮	英・独・仏・伊より 2 ヶ国語を選択し、計 8 単位を修得。	8	○ 2 ヶ国語を選択し、単位数を満たすこと。 1 ヶ国語だけで単位数を満たすことは認めない。
古楽	英・独・仏・伊より 2 ヶ国語を選択し、計 10 単位を修得。	10	
邦楽	英・独・仏・韓・国語（古文）より 2 ヶ国語以内を選択し、計 8 単位を修得。	8	修得した古典文献研究法（4 単位）の単位を、国語（古文）（2 単位）として振り替えることができる。 （修得した「古典文献研究法Ⅰ」「古典文献研究法Ⅱ」（各 2 単位）の単位を、それぞれ国語（古文）（各 1 単位）として振り替えることができる。）
声楽	I 独・仏・伊・英より 1 ヶ国語を選択し、計 12 単位を修得。 II I で選択した以外の言語を選択し、計 4 単位を修得。 ※ 独・仏・伊・英・露・ラテン・スペイン	16	
楽理	I 独・仏・伊より 1 ヶ国語を選択し、計 10 単位を修得。 II I で選択した以外の言語を選択し、計 4 単位を修得。 ※ 英・独・仏・伊・露・国語（古文）・韓・ラテン・スペイン	14	○英語の履修は、「英語Ⅱ」「英語演習」（「英語上級Ⅰ、Ⅱ」「英語演習」）から選択する。 入学試験時に英語以外の科目で受験した者は、楽理科教員室の指示を受けること。 ○国語（古文）は、邦楽科専門科目として開設している授業を履修すること。
音楽環境創造	外国語科目	8	「英語入門Ⅰ・Ⅱ」及び「英語Ⅰ」（「英語初級Ⅰ・Ⅱ」及び「英語中級Ⅰ、Ⅱ」）は履修対象外とする。

※上表の必要修得単位数を超えて修得した単位については、各科（専攻）のカリキュラムに従い、選択科目または自由科目の単位として認められる。

英語科目の履修モデル

平成27年度より、外国語科目で大きな改編があります。

とりわけ英語科目では大きな変更がありますので、平成26年度以前に入学した学生は以下の履修パターンを参考に、履修するようにしてください。

○8単位を英語科目で履修する場合の履修パターン【推奨例】

パターン①

科目名		単位
旧	英語入門Ⅰ	2
新	中級Ⅰ	1
新	中級Ⅱ	1
新	上級Ⅰ	1
新	上級Ⅱ	1
新	演習Ⅰ	1
新	演習Ⅱ	1
合計		8

パターン②

科目名		単位
旧	英語Ⅰ	2
新	中級Ⅰ	1
新	中級Ⅱ	1
新	上級Ⅰ	1
新	上級Ⅱ	1
新	演習Ⅰ	1
新	演習Ⅱ	1
合計		8

パターン③

科目名		単位
旧	英語入門Ⅰ	2
旧	英語Ⅰ	2
新	上級Ⅰ	1
新	上級Ⅱ	1
新	演習Ⅰ	1
新	演習Ⅱ	1
合計		8

パターン④

科目名		単位
旧	英語入門Ⅰ	2
旧	英語入門Ⅱ	2
新	中級Ⅰ	1
新	中級Ⅱ	1
新	上級Ⅰ	1
新	上級Ⅱ	1
合計		8

パターン⑤

科目名		単位
旧	英語入門Ⅰ	2
旧	英語入門Ⅱ	2
新	初級Ⅱ	1
新	中級Ⅱ	1
新	上級Ⅰ	1
新	上級Ⅱ	1
合計		8

パターン⑥

科目名		単位
旧	英語入門Ⅰ	2
新	初級Ⅱ	1
新	初級Ⅱ	1
新	中級Ⅰ	1
新	中級Ⅱ	1
新	上級Ⅰ	1
新	上級Ⅱ	1
合計		8

■「英語上級」「英語演習」については、言語・音声トレーニングセンター科目での修得も可能。

各科・専攻によって履修条件や単位の上限が異なるので、言語・音声トレーニングセンター科目の履修方法を必ず確認すること。

■平成26年度以前に入学した学生は、言語・音声トレーニングセンター開設科目「英語会話（中級）Ⅰ、Ⅱ」「英語作文（中級）Ⅰ、Ⅱ」「実用英語（中級）Ⅰ、Ⅱ」は卒業要件単位にはならないので注意すること。

（平成26年度以前のカリキュラムでは、上記科目が「英語Ⅰ」（初級レベル）に相当するため）

- 英語入門Ⅰ→英語初級Ⅰに対応（新旧合わせて4単位まで卒業要件単位）
- 英語入門Ⅱ→英語初級Ⅱに対応（新旧合わせて4単位まで卒業要件単位）
- 英語Ⅰ→英語中級Ⅰ、Ⅱに対応（新旧合わせて4単位まで卒業要件単位）
- 英語Ⅱ→英語上級Ⅰ、Ⅱに対応（新旧合わせて4単位まで卒業要件単位）
- 英語演習→英語演習Ⅰ、Ⅱに対応（新旧合わせて8単位まで卒業要件単位）

単位の分割について

(平成26年10月23日 教務委員会決定)

通年授業の単位分割について

年度途中で休学のうえ留学するとき、下記の条件を満たす場合に限り、特例として、通年の授業でも半期ずつの単位(本来の単位数の半分)が認められる(2015年度より)。

① 単位分割が認められる場合:

a. その外国の正規の学校制度による大学・大学院又は、それらに相当すると認められている音楽院の課程に在学する場合。

b. 外国において特定の教育機関に在学せず、教師に個人的に師事する場合で、音楽の実技の指導を受けることが確実に証明でき、かつ当該科(専攻)部会によって教育上有効と認められた場合。

② 休学の開始、及び復学の時期:

半期授業の所要出席数を十分に満たすことのできる時期であること。

③ 当該科目の担当教員より、前期の合格相当の成績評価を得られること。

④ 休学願い提出時に必要な書類:

a. 受け入れ機関が発行する受け入れ証明書。留学期間や資格等を明記したもの。

b. 受け入れ教師による受け入れ証明書。留学期間等を明記したもの。

c. 留学による休学に伴う通年授業の単位分割申請書。

⑤ 復学願い提出時に必要な書類:

a. その教育機関に在学していたことを証明する資料: 在学証明書、成績証明書、学生証、成績表(票)、履修票(指導教員の受講サインがあるもの)等。場合によっては授業納入済証等でよい。

学位を取得したり、卒業・修了の資格を取得している必要はない。

b. その教師に実質的に師事したことを証明する資料: 教師が作成した指導内容、成果、評価等に関する証明書(指導教師のサインがあるもの)。

・資料原本は、教務係においてコピーを取った上、返却する。

c. 復学に伴う通年授業の単位分割申請書。

⑥ 復学後の注意事項:

上記授業が修了要件授業である場合、後期では同じ授業科目の後半期を履修しなければならない。

ただし、もしそれが開設されていない場合には、それに相当する授業の後半期を履修しなければならない。